



HOPE2050女性・若者との県民対話 -共に創ろう信州の未来を-

令和6年（2024年）5月24日
企画振興部総合政策課
滝沢、齋藤、矢島、森山
電話：026-235-7014（直通）
026-232-0111（代表）内線3713
FAX：026-235-7471
E-mail：keikaku@pref.nagano.lg.jp

日時 令和6年5月27日（月）17-19時

場所 長野県立大学三輪キャンパス 1Fラーニングホール

当日プログラム（概要）

- オリエンテーション
- 知事とコーディネーターの一问一答
全体進行と知事との一问一答を通じたこれからの対話へのマインドセット
- グループディスカッション
 - ✓ 2050年に向けたインタビューワーク
 - ✓ 2050年の未来像について考える など
- 記念撮影

Point イベントの目的

若者が自ら望む未来を描き、そのための行動を考えるきっかけづくり

Point グラフィックレコーディング

グラフィックデザイナーの江村康子氏による
意見交換の内容のとりまとめ



※グラフィックレコーディングイメージ
引用：R4.5「子育て世代との意見交換」

Point 参加予定者（定員50名）

39歳以下の方（大学生、社会人の方など）

Point コーディネーター

参加者と同年代の株式会社BAZUKURIの藤原正賢氏
合同会社キキの川向思季氏のお二人が当日の全体進行



「HOPE2050 女性・若者との県民対話-共に創ろう信州の未来を-」を開催します

2050年には長野県の総人口は2020年の約77%の159万人、高齢化率40%以上と推計され※、社会インフラの維持困難等の課題が今後さらに顕在化することが予想されます。

このたび、人口減少に関する女性・若者との県民対話のキックオフとして、このような社会における「ありたい未来像」と「今の課題」について語り合うグループディスカッションを以下のとおり実施します。

いただいたご意見は「少子化・人口減少対策戦略（仮称）」の策定に活かしていきます。

※出典：「国勢調査」（総務省統計局）、「日本の将来推計人口」（国立社会保障・人口問題研究所）

1 日時 令和6年5月27日（月曜日）

午後5時から7時（受付開始：午後4時30分から）

2 会場 長野県立大学三輪キャンパス 1F ラーニングホール

（駐車場に限りがあるため、公共交通機関を利用しお越してください）

3 コーディネーター

株式会社BAZUKURI 代表取締役 藤原 正賢 氏

合同会社キキ co-founder 川向 思季 氏

4 プログラム（概要）

（1）2050年の状況の共有

（2）グループディスカッション・グループごとの発表（阿部知事参加）

5 参加者 39歳以下の方（学生（中学生、小学生除く）、社会人の方など）

6 参加方法

参加希望の方は5月26日（日曜日）までに以下フォームによりお申し込みください。

【参加者：50名程度】（先着順）

<https://forms.office.com/r/9P5rBmm3qP>



7 その他

- ・今後実施する県民対話のスケジュールは別途お知らせします。
- ・事前の取材申込は不要です。会場にて受付をお願いします。
- ・傍聴を希望される方の申込は不要です。会場にて受付をお願いします。
- ・本イベントは県民対話集会として実施します。
- ・オンライン配信等はいりません。意見交換結果を整理し、後日県HPへ公開予定です。

（問合せ先）

企画振興部 総合政策課 総合計画担当

（担当）齋藤、矢島、森山

電話 026-235-7014（直通）

FAX 026-235-7471

E-mail keikaku@pref.nagano.lg.jp

（問合せ先）

企画振興部 広報・共創推進課 対話・共創推進係

（担当）師岡、北澤

電話 026-235-7190（直通）

FAX 026-235-7258

E-mail kyoso@pref.nagano.lg.jp